

デジタル時代におけるシチズン・サイエンス
– 市民社会と協働した人文・社会科学研究の可能性 –

2019年9月26日(木)

10時～15時.

東京ドイツ文化センター

〒107-0052 東京都港区赤坂7丁目5-56



デジタル技術の進展により、市民社会に新たな機会やチャンスが生まれています。市民科学の広がりはその一例です。市民が研究活動に参加することで、市民の科学に対する意識が深まるとともに、研究活動の可能性が広がります。しかしながら、自然科学分野に比べ、人文・社会科学分野における市民科学の実例は少なく、積極的に活用されているとは言えません。自然科学とは異なる困難な課題があると思われます。

そこで、本コンファレンスでは、人文・社会科学分野における市民科学の可能性と課題に焦点を当て、その意義や影響、政策的な示唆について、内外の第一線の専門家を招聘し、議論を行います。人文・社会科学研究と市民社会の接点をどのように形成していくのか、市民科学が市民社会と人文・社会科学研究にもたらすメリットや、新たな課題、影響はどのようなものか、また、責任ある協働研究は、どのような方法で進められるべきか。これらの点について率直に議論を交わします。

プログラム

2019年9月26日(木)

- 09:30 受付開始
- 10:00 開会挨拶 [Dorothea Mahnke \(ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京
ディレクター\)](#)
- 10:15 趣旨説明 [神田 玲子 \(NIRA 総合研究開発機構 理事、研究調査部長\)](#)
- 10:30 基調講演1 : Same but Different – Citizen Science in the Social Sciences and Humanities
[Martina Franzen \(Institute for Advanced Studies in the Humanities ポストドクトラル
リサーチ フェロー\)](#)
Q&A
- 11:15 基調講演2 : Data-driven Society and the Citizen Science
[喜連川 優 \(大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 所長\)](#)
Q&A
- 12:00 ランチ休憩
- 13:15 パネルディスカッション
パネリスト
[Martina Franzen \(Institute for Advanced Studies in the Humanities ポストドクトラル
リサーチ フェロー\)](#)
[林 和弘 \(科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 上席研究官\)](#)
[米本 昌平 \(東京大学 客員教授\)](#)
[渡辺 努 \(東京大学大学院経済学研究科 教授\)](#)
モデレーター: [柳川 範之 \(NIRA 総合研究開発機構 理事 / 東京大学大学院経済
学研究科 教授\)](#)
- 14:45 閉会挨拶 [Franz Waldenberger \(ドイツ日本研究所 所長\)](#)
- 15:00 ネットワーキング
- 16:00 閉会

言語: 英語 / 日本語 (同時通訳あり)

参加料: 無料

お申し込み: 電子メールで dijtokyo@dijtokyo.org にお申込みください。申込みに際してはお名前、ご所属先、メールアドレスをお知らせください (締め切り 9月19日 (木))